

科目名	施設実習指導Ⅱ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2	通年			
担当者名	近藤 鉄浩・伊藤 一統 尾崎 美智恵	関連する資格	児童厚生二級指導員 必修 保育士資格 選択				
授業概要 児童厚生員等、施設職員への理解を深め、実習の意義や目的、内容、方法を知り、望ましい施設実習が行えるようにする。							
到達目標 施設実習Ⅱの目的について理解し、必要な準備を行うこと、また事後の振り返りにおいては実習を通して知り得た施設の役割、利用者の特性、職員の基本姿勢と態度について言語化し、知識の定着を図ることを目標とする。				成績評価方法 実習評価表 実習日誌、 提出物、 授業態度			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート						○	10
授業態度・授業参加度					○		5
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○			○		10
演習							
実習	○	○	○	○	○		75
授業計画と概要					アクティブラーニング		
1) 児童館実習について概要説明							
2) 児童館について							
児童館の目的、機能と運営							
3) 実習施設についての理解							
児童館実習の流れ、実習のポイントについて							
4) 事前オリエンテーションについて					個人作業		
ファイル・実施要項等配布							

5) 実習計画の作成について	個人作業
6) 実習計画の作成について	個人作業
7) 日誌の書き方について	個人作業
8) 実習の諸注意	
9) 児童館実習のふり返し① 実習先からの評価	
10) 児童館実習のふり返し② 印象に残ったこと	グループワーク
11) 児童館実習のふり返し③ 児童館、児童厚生員、利用児童・保護者について	グループワーク
12) 児童館実習のふり返し④ 施設実習計画の達成度について	グループワーク
13) 児童館実習のふり返し⑤ 児童厚生員としての適性について	グループワーク
14) 実習を通して学んだこと まとめ	グループワーク
15) 児童館実習の学び	プレゼンテーション
授業外学習	
実習事前準備として指導案の作成、教材研究等に積極的に取り組む。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
『児童館論』 児童健全育成推進財団編	施設実習Ⅱ
備考	
【オフィスアワー】 近藤 鉄浩 kondo@ube-c.ac.jp	